

# 図書館だより



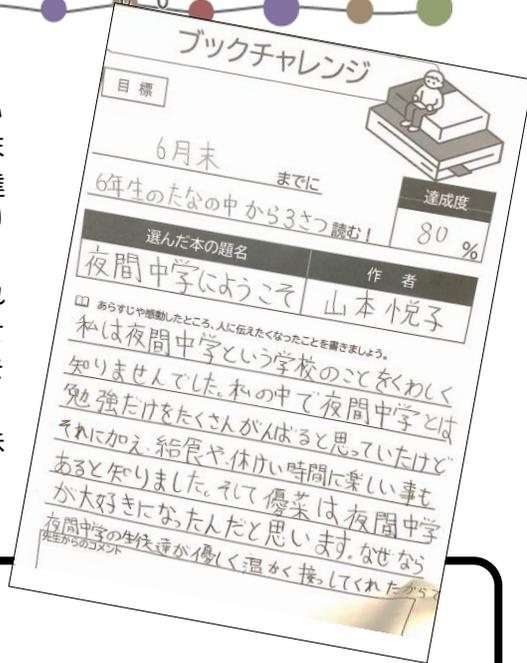
5月号

2023年5月25日  
安田小学校図書館

## ■ブックチャレンジ

5・6年生の授業で「ブックチャレンジ」を行っています。「〇〇さんの書いた本を3さつ読む」「5月末までに10さつ読む」といった目標を立て、それを達成できるように読書を進めていく取り組みです。

目標や感想を図書ファイルに記録する中で、「これ面白いよね」と友達同士で本の話題に花をさかしている姿を見ることがあります。気に入った本を「先生もどうぞ。」と貸してくれる子どももいます。読書体験を人と分かち合う楽しさをたくさん味わってほしいと思っています。



## 図書館のきまり

図書館のきまりを知る授業が全学年でありました。図書館は、子どもも先生も、みんなが自由に本を楽しんだり、くつろいだりする場所です。きまりをまもって気持ちよくすごしましょう。

### 図書館のやくそく

○返す日をまもろう ○本をたいせつに ○しづかに読もう



きれいな  
てで



かきこみ  
しない



しっか  
りもつ

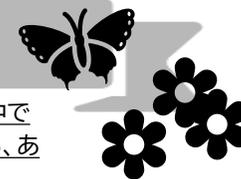


しおりを  
つかう



やぶれたら  
カウンターに  
もっていく

## 庭はふしぎへのとびら



庭は、自然のふしぎを感じることでできる場所ですが、本の中では、ファンタジーの世界の入り口になる場所でもあります。さあ、あなたが開くのはどちらのとびら？

### 低学年

#### 『ルラルさんのにわ』

いとうひろし/作 ポプラ社



ルラルさんのじまは、きれいに手入れされたしばふの庭。ところがある日、その庭にわにがねころがっていたのです。しかも、そのわにはルラルさんに言いました。「ここにねそべてみなよ。きもちいいぜ」。

### 中学年

#### 『庭をつくろう!』

ゲルダ・ミュラー/作 ふしみみさを/訳  
あすなる書房



大きな庭がある家に引っ越ししてきた家族は、さっそくあれた庭をととのえ始めます。小さなモミの木と池のあるぼくの花壇。野菜を育てる妹の畑。草とり、種まき、野菜の収穫と、ページをめくるたびに庭があるよろこびを感じることができる絵本です。

### 高学年

#### 『トムは真夜中の庭で』

フィリパ・ピアス/作 スーザン・アインツィヒ/絵  
高杉一郎/訳 岩波書店



弟が病気になったせいで田舎の屋敷でひと夏を過ごすことになったトムは、真夜中に「13時」の時計が鳴るのを耳にします。裏口から外に出たトムが見たのは、月の光に照らされた広大で美しい庭でした。彼は、そこで奇妙な女の子ハティと出会います。

#### 『根っこのこどもたち 目をさます』

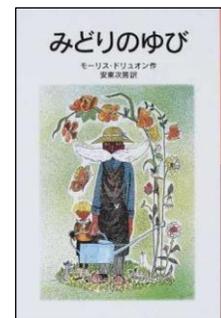
ジビレ・フォン・ホルファース/絵 ヘルン・デー・イン・フィッシュ/文  
いしいももこ/訳・編 童話館出版



冬の間、土の中でねむっていた小さな小さな根っこのこどもたちは、土のおかあさんに起こされて春のしたくを始めます。服をぬって、虫にブラシをかけて……すっかり用意ができたなら、こどもたちは手に手に花を持って、のほらに出ていくのです。

#### 『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン/作 安東次男/訳 岩波書店



お金持ちで恵まれた家に生まれながら、学校では落ちこぼれてしまったチトは、ある日、自分がどこにでも花をさかせることのできる「みどりのおやゆび」を持っていることを知ります。その力で、チトは刑務所や病院をつぎつぎに花と緑でいっぱいにしていきました。ところが。

#### 『蝶が来る庭 バタフライガーデンのすすめ』

海野和夫/写真と文 草思社



昆虫写真家の海野さんが作った「バタフライガーデン」には、春から秋までさまざまなチョウやってきます。あなたもチョウが好む花を育ててみませんか？植物がチョウを呼び寄せる力「集客力」が5段階で評価してあります。